

愛知県立大学と日進市教育委員会の連携協力に関する協定書

愛知県立大学と日進市教育委員会（以下「両者」という。）は、市立の小学校及び中学校（以下「小学校等」という。）と大学との連携及び協力（以下「学校間連携」という。）をはじめ、教育分野で相互に連携協力する事項について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、両者が学校間連携をはじめ、教育分野で相互に密接な連携協力を行うことにより、両者の教育・研究の充実と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

（連携協力事項）

第2条 前条の規定に基づき、両者が連携して実施する事項は、次のとおりとする。

- （1）学生等による小学校等の教育活動の支援に関する事。
- （2）教職員養成における協力に関する事。
- （3）教育上の諸問題に係る調査及び研究に関する事。
- （4）教職員の資質向上に関する事。
- （5）スクールソーシャルワーカー及び教職員への指導助言、研修等に関する事。
- （6）その他両者が必要と認める事項

（連携の方法）

第3条 両者は、連携に当たってそれぞれの教職員の派遣及び受入れについて協力するとともに、自らの有する施設等の利用についても、業務に支障のない範囲で双方便宜を供するものとする。

（経費）

第4条 両者の連携協力の伴う経費は、原則として各自が負担する。ただし、特別に教職員の派遣及び受入れを要請した場合は、要請した側がその経費を負担する。

（連携協力窓口）

第5条 両者は、この協定による連携の円滑な推進を図るため、それぞれ連絡調整に関する担当部署を定めるとともに、必要に応じて協議を実施するものとする。

（守秘義務）

第6条 両者は、この協定に基づく活動において、相手側から知り得た秘密事項について、協定の有効期間中及び有効期間終了後を問わず、第三者に対して開示又は漏えいしてはならないものとする。ただし、相手方の承諾を得ている場合は、この限りではないものとする。

（有効期間）

第7条 この協定の有効期間は協定締結の日から令和6年3月31日とする。ただし、この協定書の有効期間満了の日の1か月前までに両者のいずれからも改廃の申入れがないときは、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

（雑則）

第8条 この協定に定める事項に疑義が生じたとき又はこの協定に定めるもののほか合意の必要が生じたときは、両者協議のうえ、新たに定めるものとする。

この協定は、両者の代表者の署名をもって有効となる。

なお、協定書は、2通作成し、両者がそれぞれ1通を保有するものとする。

令和5年3月23日

愛知県立大学学長

日進市教育委員会教育長

久富木原 玲

岩田 憲二